

あなたのペニスの  
サイズは？  
○学生男子の  
特殊身体測定の一コマ

## あなたのペニスのサイズは？

### ○学生男子の特殊身体測定の一コマ

今日は○学生男子生徒たちのペニスを測定する特殊身体測定。

健全に大人へと成長しているか、チェックしていく。

測定するのは36歳の女医、峯垣雅恵（みねがきまさえ）先生だ。

「はいっ！じゃあ名簿順に並んでね。みんなのおちんちんがしっかり発育しているかどうか、チェックしていくからね」

「はあ———いっ！！」

峯垣先生は、下着姿になった元気な男子生徒たちを見て薄紅色のメガネの縁を小指でククッと上げた。

「初めは相川（あいかわ）君ね」

「はあい！じゃあ先生！見てくださあい！」

元気よく下着をずり下ろした相川君。

パンツの下から、元気な剥けたてペニスが顔を出した。

その赤々と光っている亀頭が幼さも感じさせるが、サイズは大人顔負け。

「あらっすごおい！このサイズは凄いわぁ！！相川君はもう測定するまでもないわね。順調に成長しているわよ！！」

峯垣先生が目の色を変えて言った。

「ありがとうございますーす！！」

「驚いちゃったけど・・・気を取り直していきましょう。じゃあ次、井野川（いのかわ）くん」

「は・・・はい・・・」

少し引っ込み思案の井野川君が恥ずかしそうに下着を下ろすと、股間は、ちょっぴり峯垣先生にとって不安なサイズ。

「そうね・・・井野川君はもうちょっと大きくならなきゃ駄目ね」

「そ、そうなんですか？」

涙ぐんで井野川君が尋ねる。

「井野川くんは背もそこそこ高いんだから。ここだけ小さいのは

少しまずいかもしれないわね。オナニーはしてるの？」

「オ、オナニーって何ですか？」

峯垣先生が小さくため息をついた。

「そういうことね・・・じゃあ仕方ないわ。まだ何も知らないんじゃないよ。勃起もしたことないのね、きっと」

「ぼ、勃起！??」

「井野川君、あなたは最初に先生が測定した相川君に色々教わってみなさい。きっと彼みたいなペニスのサイズの子なら、いろんなこと知ってるから」

振り向いて井野川君が見つけた相川君の顔はとっても嬉しそうで、  
だけど意地悪そう。

「へへっ！井野川！おまえみたいな何も知らない餓鬼んちょでは俺のペニスには勝てないな！！」

そう言って相川君はベロオ～～と舌を出してみせた。

「はい次！次いきましょお～！！」

峯垣先生が白衣の胸元を寄せた。

三番手は江藤（えとう）くん。

**体験版はここまでです。**

**もし気に入っていただけましたら、**

**続きを製品版でお楽しみいただけると幸いです。**